

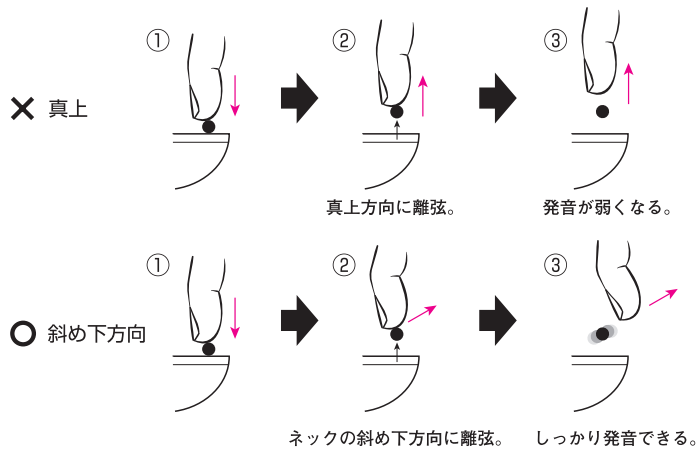
注意点1



指を斜め下方向に動かして  
弦を的確に振動させよう

指を弦に引っ掛けながら発音するテクニックを“プリング”と言う。プリング時に、指を真っ直ぐ上げると発音が弱くなるので、斜め下方向に動かすのがポイントだ(図1)。また、プリングから繋がる次の音の押弦が甘いときや音程や音量が不安定になるので、プリングを行なう指はもちろん、その次の音の押弦にも気を配るようにしよう。

図1 プリングの軌道

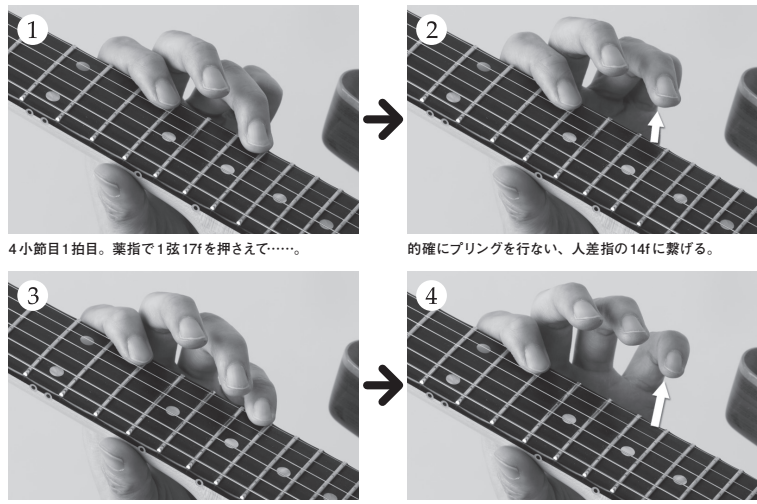


注意点2



左手を的確に開きながら  
小指を力強く動かすべし!

メイン・フレーズ4小節目では、人差指の移動(1弦14フレット→13フレット)と、1弦17フレットの薬指から小指への切り替えに注意が必要だ(写真①~④)。また、3拍目はややストレッチ・フォームになるので、小指のハンマリングとプリングが弱くならないように指を力強く動かしてみよう。



4小節目1拍目。薬指で1弦17fを押さえて……

的確にプリングを行ない、人差指の14fに繋げる。

3&4拍目では、13fを人差指、17fを小指で押さえる。

プリングが弱くならないように、小指を弦に引っ掛けよう。

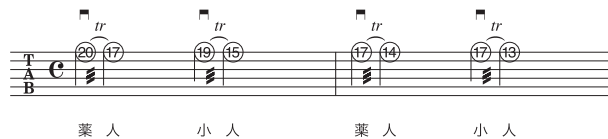
~コラム9~

地獄の戯れ言

ハンマリングとプリングを素早くくり返すテクニックを“トリル”と言う(図2)。トリルは、16分音符や6連符など符割りが決まっているわけではないので、スピード感を重視して演奏するとよい。プリングの軌道を小さくしながら、ハンマリングを力強く行なって、速さとクリアなサウンドを兼ね備えた美しいトリルを鳴らそう。

速さとクリアな発音を共存させよう!  
的確なトリルの弾き方

図2 トリルの表記



薬人 小人 薬人 小人

トリル表記された譜面では、リズムに囚われることなく、ハンマリングとプリングをとにかく“速く”くり返そう。

【押弦が甘い】ギターは右手がスピーディに動かせても、左手の押弦が甘いと、ミュート音のようになる。1音1音を確実に押弦せよ!